

コンクリート構造診断技術講習会 参加報告

山口 貴幸 環境建設技術分野

1. はじめに

社会資本としてのコンクリート構造物のストックが、すでに膨大な量に達しており、これらを適切に維持管理し、補修・補強を行う必要がある。この講習会は、社会のそのようなニーズに応えるべく、コンクリート構造物の保全・診断技術に関する知識を有する技術者を養成し、社会に貢献しようという目的で行われている。この講習を受講した上で 7 月に行われる検定試験に合格すると「コンクリート構造診断士」の称号を使用できる。この資格を有する者は、既設コンクリート構造物の維持管理計画や劣化診断の高度な知識を持ち、それをを用いて的確に判断し指導することで、貴重な社会資本を永く有効に供用しうることが期待されている。昨年度までに 8 回の講習会・検定試験が行われ、894 人の資格者が誕生している。さらにこの資格は、今年になってコンクリート橋の点検・診断を行う上での国交省の認定資格として登録されており、その社会的重要度が認められつつある。

私の主たる技術分野であるコンクリートの分野では技術革新が目まぐるしく、特に補修や補強に関しては、新たな工法・材料の開発が進んでい

る。特に劣化診断に関することは私の研究支援内容に関連が深く、今回の講習会で改めて理解を深める意義は大きかった。

2. 講習会の内容

表-1 に講習会プログラムを示す。

内容は、主にコンクリート橋に関するもので、劣化の原因、診断、点検、評価および判定に関することから、補修、補強の方法など、幅広く解説したものだ。

3. 講習会を終えて

一言でコンクリート構造物とは言っても、非常に多くの種類があり、社会的な重要度も様々に違うし、補修に許される予算も違う。また、劣化因子としての周囲の環境や、施工された時期によっても、構造物の状態は影響を大きく受ける。自然災害の絶えないわが国において、限られた予算で社会資本を維持していくには、これらの知識・技術を有する技術者の育成が急務である。私が指導している学生の中には、大学を巣立ったのちにこのような仕事に携わる方も多いので、貢献している自負はある。

私自身の知識・技術を日々研鑽しつつ、これから指導する学生への指導内容の充実を図るべく、さらに努力していくことが重要である。まずは今回の講習内容を復習して身に付けるため、今回頂いた 400 ページを超えるテキストと格闘し、7 月の検定試験に臨みたい。

表-1 講習会プログラム

時間	内容
10:00 ~ 10:15	挨拶
10:15 ~ 11:00	診断の基本
11:00 ~ 12:00	変状,点検,評価,判定
13:00 ~ 13:50	耐震診断,耐震補強
13:50 ~ 14:50	補修,補強,機能向上
15:00 ~ 15:50	建築構造物の診断,補強
15:50 ~ 16:10	検定試験の説明,閉会